KASAOKA CITY COUNCIL

# 市議会かさおか

2026. 2. 1
187号

## 学校紹介

本校は、難関大を目指す特別進学コース、幅広い進路に合わせた選択選抜コース、体験を通して自分を成長させる進学教養コースの３コースがあります。また、ＩＴ技術を磨く情報科、新設の通信制課程まで、多彩な学びから自分にぴったりの道を選択可能です。ＩＣＴ活用や高大連携で主体性を育み、選べる制服や活発な部活動など、ワクワクする日常も充実しています。

一人ひとりの「やりたい」に寄り添い、あなたの可能性を最大限に広げる環境が整っています。

令和７年度に発行する市議会かさおかの表紙作成を市内の４つの高校にお願いしています。
今回の市議会かさおか第187号は、岡山龍谷高等学校に表紙を作成していただきました。
表紙作成にご協力いただき大変ありがとうございました。

# 12月定例会

会期　12月3日～12月17日

発議第6号　笠岡市議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例について

## 議員報酬・期末手当を減額

本市の財政状況等を勘案する中で、議長・副議長・議員の報酬・期末手当を引き続き減額（特例措置）するために、改正したものです。

| | 特例措置により減じる額 | 特例措置の期間 |
|---|---|---|
| 議　長 | 支給額の100分の10 に相当する額 | 令和7年4月1日から<br>令和9年3月31日まで<br>（令和8年4月1日から1年延長） |
| 副議長 | 支給額の100分の5 に相当する額 | |
| 議　員 | 支給額の100分の3 に相当する額 | |

議案第74号　市長等の給料及び期末手当の特例に関する条例の制定について

## 市長等の報酬・期末手当を減額

本市の厳しい財政状況を鑑み、安定した財政運営の推進のため、市長等の給料・期末手当を減額（特例措置）するために制定したものです。

| | 特例措置により減じる額 | 特例措置の期間 |
|---|---|---|
| 市　長 | 支給額の100分の10 に相当する額 | 令和8年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |
| 副市長 | 支給額の100分の5 に相当する額 | |
| 教育長 | 支給額の100分の3 に相当する額 | |

議案第81号　笠岡市手数料条例の一部を改正する条例について

## 手数料の見直し

使用料・手数料の見直しに関する方針に基づき、コスト計算等に基づく適切な手数料に改正するものです。また、コンビニエンスストア（以下、「コンビニ」という。）等における証明書等の自動交付サービスの利用を促進し、市民の利便性向上を図るため、このサービスを用いた場合における証明書等の手数料を定めることとし、所要の改正をするものです。

見直される手数料の一部

| 項目 | 見直し後（令和8年4月1日から） | | 見直し前 |
|---|---|---|---|
| | 市役所窓口等 | コンビニ等 | 市役所窓口・コンビニ等 |
| 印鑑登録証明 | 手数料<br>1件につき　400円 | 手数料<br>1件につき　200円 | 手数料<br>1件につき　300円 |
| 住民票に関する証明 | | | |
| 住民票の写し | | | |
| 所得に関する証明 | | | |

# さらに良い市政を目指して 政策提言を行いました。

常任委員会がそれぞれ笠岡市の将来に対する課題を設定し、委員間で討議をしながら調査を進め、委員会の総意として政策提言を行いました。提言は、市政がさらに良くなっていくことを願い、政策提言書として取りまとめ、市長へ提出しました。

紙面の都合上、概要を掲載しています。詳細はＱＲコードからご確認ください。

総務文教委員会

## 公共交通について

～公共交通の活性化で持続可能な地域を実現～

- 公共交通整備の明確な方針に基づく財政出動・体制強化
- 乗務員不足への対応、ライドシェアの研究・導入検討
- 新たな移動手段導入の検討
- エリア内にある交通資源の有効活用に向けた取組

厚生産業委員会

## 笠岡市の土地利用及び施設の今後を考えて

～都市活力を維持し、都市機能・施設の充実を図る～

- ＪＲ笠岡駅周辺環境整備
- 公営住宅の利活用
- （仮称）篠坂ＰＡスマートインターチェンジ及び一般国道２号笠岡バイパス周辺整備

# ひと目でわかる審議結果

## 全会一致で可決した議案等

| 議案等 | | | |
|---|---|---|---|
| 議案第73号 | 令和７年度笠岡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号） | 議案第90号 | 豊浦ふれあい会館の指定管理者の指定について |
| 議案第74号 | 市長等の給料及び期末手当の特例に関する条例の制定について | 議案第91号 | 笠岡市立コミュニティハウスの指定管理者の指定について |
| 議案第77号 | 督促手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について | 議案第92号 | 笠岡市ボランティアハウスの指定管理者の指定について |
| 議案第78号 | 笠岡市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について | 議案第93号 | 笠岡市大島海の見える家の指定管理者の指定について |
| 議案第79号 | 笠岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について | 議案第94号 | 真鍋島ふれあいハウスの指定管理者の指定について |
| 議案第80号 | 笠岡市職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例について | 議案第95号 | 岡山県市町村税整理組合の共同処理する事務の変更及び組織する地方公共団体数の増加並びに岡山県市町村税整理組合規約の変更について |
| 議案第82号 | 笠岡市基金の設置，管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について | 議案第96号 | 岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について |
| 議案第83号 | 笠岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 議案第97号 | 令和７年度笠岡市一般会計補正予算（第５号） |
| 議案第85号 | 笠岡市北木島宿泊研修所の指定管理者の指定について | 発議第6号 | 笠岡市議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例について |
| 議案第86号 | 笠岡市北木島高齢者共同生活住居の指定管理者の指定について | 発議第7号 | 笠岡市議会会議規則の一部を改正する規則について |
| 議案第87号 | いきいき交流センターの指定管理者の指定について | 発議第8号 | 子育て支援のさらなる充実に関する意見書 |
| 議案第88号 | サンライフ笠岡の指定管理者の指定について | 請願第10号 | 子育て支援の充実に関する請願 |
| 議案第89号 | 笠岡市保健センターの指定管理者の指定について | | |

## 賛成・不賛成の分かれた議案等

賛成○　不賛成●

| 会派 | | 創政みらい | | | | | | | 讃志会 | | | | いぶき | | 公明党 | | みんなの笠岡 | | 諸派 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議員 ＼ 議案等 | 賛成：不賛成 | 天野喜一郎 | 仁科文秀 | 桑田昌哲 | 大月隆司 | 山下恭司 | 宮崎秀夫 | 村上太志 | 大山盛久 | 奥野泰久 | 山本聡 | 西山博行 | 藤井義明 | 妹尾博之 | 齋藤一信 | 大本邦光 | 真鍋陽子 | 守屋基範 | 井木守 | 加藤義久 | 薮田誠二郎 |
| 議案第72号<br>令和７年度笠岡市一般会計補正予算（第４号） | １８：１ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 議案第75号<br>使用料・手数料の見直しに伴う総務文教委員会所管関係条例の整備に関する条例について | １８：１ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 議案第76号<br>使用料・手数料の見直しに伴う厚生産業委員会所管関係条例の整備に関する条例について | １８：１ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 議案第81号<br>笠岡市手数料条例の一部を改正する条例について | １８：１ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 議案第84号<br>笠岡市水道条例及び笠岡市公共下水道条例の一部を改正する条例について | １８：１ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 請願第9号<br>笠岡市議会議員の現行定数２０人を削減する請願 | ２：１７<br>不採択 | ● | ● | ● | 議長 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ● | ● |
| 請願第11号<br>選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願 | ３：１６<br>不採択 | ● | ● | ● | 議長 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 請願第12号<br>再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書提出に関する請願 | ３：１６<br>不採択 | ● | ● | ● | 議長 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● |

※議長は地方自治法第１１６条第２項の規定により、採決に加わることができません。

## 質問者 村上太志（むらかみたいし）

### 未婚化対策について

**質** 少子化の要因の一つに、未婚化の進行もあるが、本市では結婚を望みながら、その実現に不安を感じている人も多い。出会い支援の現状と今後の取組について、本市の考えを尋ねる。

**答** 井笠圏域の各市町や県と連携した結婚支援事業を継続し、情報提供と支援の充実を図る。

**質** 結婚後の住居費や引越し費用など、新生活の初期負担への支援について、本市の方針を尋ねる。

**答** 若い世代が安心して定住できるよう、住宅施策の検討を進める。

### 保育・教育環境の安心安全について

**質** 日本版DBS（学校・保育等、子供と接する職に就く者について、事業者が重大な性犯罪歴の有無を国に照会できる制度）の導入を見据え、児童・生徒や園児に対する不適切行為の防止、防犯カメラ設置、SNS利用ルールの現状と今後の対応について尋ねる。

**答** 相談体制や研修、防犯対策、ルールの周知徹底を進め、子供の安全と職員の安心につながる体制整備を行う。

**質** 不適切行為を未然に防ぐための取組や、情報の適正管理について、本市の現状と考え方を尋ねる。

**答** 学校ではアンケートや教育相談を実施し、保育現場ではチーム保育により異変に気づく環境を構築する。あわせて、防犯カメラの適切な配置や情報管理を行い、継続的な安全対策を進める。

## 質問者 加藤義久（かとうよしひさ）

### 学校規模適正化計画の進捗状況について

**質** 令和9年4月、陶山小学校と城見小学校、吉田小学校と新山小学校の統合へ向けた準備のため、統合準備委員会を設置したことは承知しているが、概要を尋ねる。

**答** 統合準備委員会は学校規模適正化計画に基づく学校の統合を円滑に進めることを目的に設置している。メンバーは統合する学校の保護者代表、住民代表、教職員代表であり、陶山・城見小学校区では20名、吉田・新山小学校区では24名で組織している。全体会の下に、5つの部会（総務部会、通学安全部会、PTA部会、放課後児童クラブ部会、学校運営部会）を設置し、各部会での協議内容が一定程度決定した段階で、学期に一回程度全体会を開催していく。

### ネーミングライツパートナー募集の進捗状況について

**質** 申込期限が11月28日となっていたが、申込件数を尋ねる。

**答** 8件の申込みがあった。

**質** 継続して取り組むのか。その場合、何か工夫するのか。

**答** 市の財源確保や官民連携の推進に有効なため、今後も取り組む。次回以降の募集では、広報紙及びホームページへの掲載方法の見直しや市公式LINEを活用した配信方法など、情報発信を強化する。また、他自治体では、事業者の提案に基づく施設でネーミングライツを導入している事例もあり、そのような手法も検討していく。

**その他、「カブトガニの『ゆるキャラ』を活用した広報・観光宣伝活動」について質問しました。**

質問者 真鍋陽子（まなべようこ）

## 笠岡市民病院における政策医療について

**質** 笠岡市民病院はどのような政策医療を提供しているのか。また、今後求められる政策医療について尋ねる。

**答** 島しょ部医療、救急医療、小児周産期医療、災害時医療など、採算性の確保が難しい医療を提供している。今後求められる政策医療としては、高齢者の軽微な救急搬送の大幅な増加への対応や、在宅医療、在宅介護を一体的に受けられるよう、医療と介護の連携を推進することだと考えている。

**質** 未病予防に関する検診などを取り入れる方向性はあるのか。

**答** 未病予防関連の推進は重要である。保健や福祉、教育、地域など、幅広い連携が必要な分野である。

## 市内の学校における化学物質過敏症（香害）について

**質** 化学物質過敏症のため、登校できなくなった児童・生徒がいるのか尋ねる。

**答** 化学物質過敏症は個人差が大きく症状も多岐にわたる。不登校の要因は複雑であり、同症の関わりも含め、多角的なアセスメントに基づく支援を行っている。

**質** 化学物質過敏症や香害を、保健調査書の中のアレルギー欄に類例として記載できるか尋ねる。

**答** 保健調査書の様式、中身が時代の流れの中でどうあるべきかは研究をしていきたい。

**その他、「読み書きのつまずきをスクーリング」「教材の学校備品化」などについて質問しました。**

質問者 山本聡（やまもとさとし）

## まちづくりについて

**質** 庁舎建て替え時に、駅前までの区間を公園として扱い、人・商店が集まる「まち」にしてはどうか。

**答** 県庁通りのまちづくりについては、しっかりと暮らせる町、住んでもらえる町を目指し、パブリックスペースを利活用したイベントの実施や、空き店舗の活用促進等を図る。歩いて生活できる住空間の確保に引き続き取り組む。

**質** 貫閲講堂は耐震化を施し、庁舎や小学校の施設として活用できないか尋ねる。

**答** 貫閲講堂は現在使用を休止しているが、利用再開には耐震改修が不可欠。地域の記憶に残る建物であり、歴史的価値を有しているため、バランスを考えながら様々な可能性を検討する。

## 地域医療について

**質** 市民病院の建て替えを前提に、新病院の機能、地域との医療連携について尋ねる。

**答** 新病院の機能及び地域連携の在り方については、年内を目途に有識者の検討会議を立ち上げ、最新のガイドラインに沿うよう検討していきたい。

**質** 医師不足への対応を尋ねる。

**答** 新病院建設の前提となる医師確保は最大の課題である。既に大学医局や民間の紹介会社を活用して、常勤医師確保に努めている。そのほかにも近隣の医療機関からの診療支援もある。奨学金制度を利用した学生へ、将来勤務を推進する取組も行っている。

## 質問者 齋藤一信（さいとう かずのぶ）

### 学校体育館の空調設備整備を！

**質** 災害時の避難環境、熱中症対策、子供たちの健康確保の観点から、学校体育館への空調設備の早期実現について具体的な検討方針を尋ねる。

**答** 学校体育館への空調設備は未整備であるが、児童・生徒が安心して教育活動に取り組める環境を守ることや避難所としての機能維持のために、近年の記録的な猛暑による熱中症リスクを回避する方策として検討していく必要があると認識している。

空調設備を整備するには、屋根の遮熱や壁の断熱などの課題があるが、国の整備方針を踏まえ、他市町の導入事例も参考にし、補助制度などを活用しながら整備を年次的に進めていきたい。

### 「難聴で困らない社会」の実現を！

**質** 窓口サービスの向上に加え、軟骨伝導イヤホン支援の動きや県内先行自治体の取組を踏まえ、本市として今後どのように「難聴で困らない社会」の実現を進めていくのか、方針を尋ねる。

**答** 軟骨伝導イヤホンは、イヤホンを装着している本人にしか音が聞こえないため、プライバシーへの配慮が必要な窓口で対応しやすい。他自治体での導入事例も参考に、有効性を確認した上での設置などを前向きに検討したい。難聴支援に関しては、できる限り弱い立場にある人たちを救っていくことが行政の大きな役割であると認識しているため、可能な限り予算措置をして取り組みたいと考えている。

## 質問者 西山博行（にしやま ひろゆき）

### 中高生の居場所の整備について

**質** 中高生の居場所（サードプレイス）の必要性をどのように認識し、施策として位置づける方針か。

**答** 困難を抱える児童・生徒への課題解決型の居場所だけでなく、中高生の一般的な居場所も含め地域全体で子供を育む環境を整えていく必要があると考えている。

**質** 既存ストック（施設等）を活用した中高生の居場所の仕組みの導入について、調査研究及び実施に向けた本市の見解を尋ねる。

**答** 現在の居場所の利用状況やニーズの把握に努めるとともに、居場所の開放性と安全性のバランスも考えながら、中高生が気軽にかつ安全で安心して過ごせる居場所について調査研究をしていく。

### 笠岡市地域おこし協力隊について

**質** 採用のミスマッチを防ぐには、任期中の三年間の活動計画や具体的な企画提案の提出を求め、選考委員は地域社会の課題解決や活性化に取り組む中間支援組織の方を加えるなど、提案の実現可能性を客観的に評価する仕組みが必要だと考えるが、隊員の採用、不採用を決定する基準と隊員に期待する役割を尋ねる。

**答** 書類選考を経ての二次選考面接では、活動の計画性や必要なスキル、地域との協調性、三年後の定住に向けての将来性などについて各委員の評価により合否を決定している。任期満了後も起業や事業継承も含めて笠岡へ定住、あるいは関係人口として本市との関係性が継続するような熱意や力を持っている人材を採用したい。

質問者 井木守

## 災害時のトイレ対策について

**質** 災害による断水対策としてのマンホールトイレの整備と携帯トイレの備蓄について尋ねる。

**答** マンホールトイレは笠岡小、中央小に5基ずつ整備しており、携帯トイレは2万個を備蓄している。

**質** 避難所となる施設におけるトイレの洋式化の進捗状況を尋ねる。

**答** 65施設中64施設に洋式トイレを設置しており、便器数全体に占める洋式便器の割合は58・3％である。トイレの洋式化の計画は策定していないが、必要性を考慮しながら検討を進める。

## 笠岡市の公共交通について

**質** この2年で公共交通についてどのような検討をしたのか尋ねる。

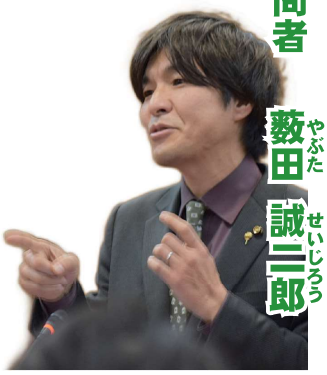
**答** 各交通事業者との意見交換などを行った。また、地域主体の移動手段の確保について検討している。

**質** 家族の送迎は、特に女性で負担感が強いようだ。定時運行の公共交通で負担軽減を図るべきだ。

**答** 幹線道路についても乗務員不足により減便が起きているが、幹線は維持する必要があると考える。買い物支援などは様々な団体と意見交換し、検討していきたい。

**質** 高齢者タクシーチケットの利用制限の見直しについて尋ねる。

**答** 利用制限の緩和について要望をいただいており、見直しも含めて検討している。



質問者 藪田誠二郎

## 笠岡市の『観光』について

**質** 本市の観光戦略を尋ねる。

**答** 本市の観光振興ビジョンでは、3エリア（①笠岡湾干拓地等②笠岡諸島③周遊エリア）を柱とし、「花と食」をテーマに掲げている。年間70万人が訪れる道の駅の集客力を強化し、消費額の増加、笠岡諸島や他の周遊エリアへの集客を促進する。また、島の自然、歴史、文化等の地域資源を生かした体験型ツアーを造成する。

**質** 令和8年度に一般国道2号笠岡バイパスの開通を控え、市民も期待している。今後の道の駅の施設拡張事業について尋ねる。

**答** 凍結解除に向けて再検討を進めている。

**質** 外国人観光客も含め、地域ならではの体験旅行が人気だが、本市の施策について尋ねる。

**答** ㈱モンベルに観光資源の調査・商品開発を委託しており、その結果を基に笠岡市観光協会と連携し、体験型ツアーの造成、販売等も進める計画である。

**質** 令和7年8月にAIプラットフォーム「ＴｏｙＴａｌｋ」が提供開始された。観光やイベント、カブトガニ博物館、庁舎・施設窓口などでの積極的な活用について尋ねる。

**答** AIによる多言語対応や即時応答の導入は、幅広い層への有効な手段と認識する。AIを使用したサービス展開検討時の参考にする。

## 質問者 宮崎秀夫（みやざき ひでお）

### 若者の薬物・オーバードーズ問題について

**質** 若者の薬物乱用と市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）について、その状況を把握する体制は現時点で十分に整っているか。

**答** 相談があれば県の専門窓口につなぐ。今後も連携を緊密化し、相談体制を強化する。

**質** 相談窓口を1つ明確に設けることで、相談の入り口を一本化することは可能か。

**答** 現時点で「薬物・オーバードーズに関する窓口」と明示した一本化窓口はない。相談者がどこの部署や関係機関にも相談できていない場合は、まず健康推進課が対応し、各関係機関へつなぐ。

### 学校給食無償化に伴う質の確保について

**質** 給食の質をこれまでどおり保っていくための財源確保と運営方針をどのように考えているか。

**答** 今年度は国の重点支援交付金を活用し、物価高騰の影響を抑えている。今後も財源確保に努め、質の維持のために国へ働きかけを行う。

**質** 衛生・栄養基準だけでは見えにくい実態把握のため、親子給食を実施し、簡単なアンケートを行い、その結果を指標として活用する考えはあるか。

**答** 親子給食は全校ではないが今年度も実施している。現時点でアンケートは未実施だが、実施して今後の給食や献立の参考にしたい。

## 質問者 守屋基範（もりや もとのり）

### 笠岡駅周辺の活性化について

**質** 駅前の整備については財政健全化で凍結されているが、お金だけの問題なのか。市民の意見を積み上げたプランが必要ではないか。

**答** 財政の状況や社会の動態など、本市全体を見ながら、駅前の整備プラン全体を考える。

**質** 駅前の賑わい創出として、いちょう祭は本市の一大イベントとなっている。商店街のみで構成される実行委員会に大きな負担がかかっているのではないか。

**答** 運営体制も含めて商店街と検討する。

### 地域おこし協力隊インターン制度の活用で関係人口の創出

**質** 地域おこし協力隊の体験機会として最長3か月のインターン制度があるが、関係人口創出のために活用してはどうか。

**答** 外部人材のスキルや発想は地域活性化に有効である。本市がニーズ把握とマッチング支援を行い、地域等への受入れを考えたい。

**質** 地域おこし協力隊のメンターに、経験豊富な本市の再雇用の職員を配置する仕組みを作れるか尋ねる。

**答** 地域おこし協力隊のメンターに限らず、再雇用人材の経験を生かした適材適所の配置により、行政課題に対応していきたい。

第２回　議員研修会

# 社会経済環境の変化と地方自治の行方

講師：北村　亘　教授

実施日：令和７年 10 月 17 日（金）
場　所：笠岡市中央公民館　集会室
講　師：大阪大学大学院法学研究科 北村 亘 教授

今回の研修会は、笠岡市議会議員、井笠圏域の２市２町の市・町議会議員、笠岡市長・副市長、岡山県・笠岡市職員の約 40 名が参加しました。

## おもな内容

１．公共施設の老朽化と保全業務に携わる技術職員の不足
主要な公共施設の多くが高度経済成長期以降に建設されており、建設後 50 年以上経過する施設が増加します。今後、これらの公共施設が一斉に更新時期を迎えますが、公共施設の保全業務に携わる技術職員が不足していることが課題となります。

２．地方議会の役割
審議会などへの市民参加が進む中で、議会に期待されているのは、首長の行政運営・政策決定のチェックです。

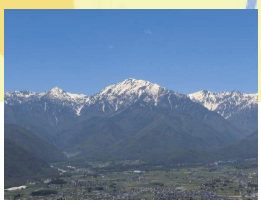
【お詫びと訂正】
令和７年 11 月１日発行の市議会かさおか 186 号で、表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
○厚生産業委員会　視察レポートの視察先の団体名（15 ページ）
【正】静岡県浜松市　　【誤】愛知県浜松市

視察レポート PICK UP!

# 先進地の取組を市へ

## 議会改革ってなに？

議会改革とは、市民の皆様の声を行政に生かせるように、議会制度や運営の方法を変えていく取組のことを言います。



北アルプスの風景

### 議会運営委員会（令和７年１１月４日～６日）

#### １日目　委員会代表質問について（長野県大町市）

委員会代表質問は、常任委員会の全会一致を前提に「委員会の総意」として本会議で行う質問手法で、個人質問よりも政策提言性と実行力を高める目的で導入されました。その結果、執行部の答弁は、「検討します」といった抽象的な表現が減少し、答弁の具体性が高まっています。

特産の水引（イメージ）

#### ２日目　一般質問を通した議員力・議会力の向上について（長野県飯田市）

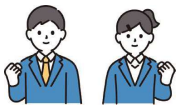
飯田市では、一般質問を「監視」や「パフォーマンス」だけでなく、「政策提言」の入口と位置づけ、個人の技能向上と議会全体の学習循環を組み合わせて質の向上を図っています。現状分析に基づく政策提言型の質問とすること、市民福祉の向上に資するテーマ設定、そして委員会・会派での共有によって議会全体の議論へ発展させることを重視しています。

#### ３日目　一般質問の進捗状況調査について（岐阜県瑞浪市）

瑞浪市では、一般質問後の答弁内容について、その後の対応状況を把握・公表するための「一般質問進捗状況調査」制度を導入しています。制度導入効果として執行部の答弁が具体化し、「検討します」といった曖昧な表現が減少、実施困難な事項は「できない」と明確化され、実施に前向きな場合は時期や対応方針が示されるようになりました。

世界一大きい美濃焼こま犬（ギネス認定）

# 中学生が市議会で職場体験をしました



「いきいきチャレンジ体験」は、中学生が地域の職場・施設で体験活動を行うことにより、主体的に自らの生き方や進路を選択をしていこうとする意欲や態度を育成することを目的として行われています。

このたび、市内中学校４校４名の生徒の皆様が、市議会で職場体験を行いました。

市議会かさおか

令和8年2月1日発行　第187号

発行　笠岡市議会

☎0865（69）2161

# ３月定例会（予定）

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2/15 | 16<br>・予算決算委員会協議会<br>・予算決算委員会理事会 | 17<br>・議会運営委員会 | 18 | 19 | 20<br>・本会議初日<br>（議案上程ほか）<br>・予算決算委員会<br>・総務文教委員会協議会 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 3/1 | 2 | 3 | 4<br>・本会議２日目<br>（代表質問） | 5<br>・本会議３日目<br>（個人質問） | 6<br>・本会議４日目<br>（個人質問） | 7 |
| 8 | 9<br>・本会議５日目<br>（個人質問） | 10<br>・本会議６日目<br>（諸議案質疑以下）<br>・予算決算委員会<br>・厚生産業委員会協議会 | 11<br>・総務文教委員会<br>・予算決算委員会<br>総務文教分科会 | 12<br>・予算決算委員会<br>総務文教分科会 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17<br>・厚生産業委員会<br>・予算決算委員会<br>厚生産業分科会 | 18<br>・予算決算委員会<br>厚生産業分科会 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23<br>・予算決算委員会理事会 | 24<br>・予算決算委員会 | 25 | 26<br>・議会運営委員会 | 27<br>・本会議最終日<br>（委員長報告・議案採決ほか） | 28 |

※赤字の会議は生放送予定です。日程は2月17日の議会運営委員会で決定します。会議は各日とも9：30から開始します。

## 笠岡高等学校へ感謝状を贈呈しました

年４回発行する市議会かさおかの表紙作成を、令和７年度は市内の高校にお願いしています。

令和７年11月１日に発行した市議会かさおか第186号は、笠岡高等学校に表紙を作成していただいたため、感謝状と記念品を贈呈しました。

この度は、表紙を作成していただき大変ありがとうございました。

大月議長から記念品を受け取る谷本先生

check！

ＱＲコードを読み取ると
表紙を見ることができます。

## 編集の窓

**広報公聴委員会**

委員長　天野　喜一郎
副委員長　齋藤　一信
委　　員　大本　邦光
大山　盛久
桑田　昌哲
仁科　文秀
山本　聡

笠岡市議会では、このたび、総務文教委員会による「公共交通について」と、厚生産業委員会による「笠岡市の土地利用及び施設の今後を考えて」の２つの政策提言を行いました。

これらは、今後本市の大きな課題となる可能性が高い分野について早期に検討・改善を進め、市民生活の安定と持続的な発展を図ることを目的とするものであり、笠岡市議会は、市行政と一体となって安心・安全な暮らしの実現と、より良い笠岡市の未来の構築を目指します。